



柴崎 ^{みこと}心琴ちゃん
「私の笑顔が家族を
幸せにするよ♡」
(道生町)



横山 ^{だいち}大知くん
「お散歩大好き!
転んでも泣かないぞ!!」
(上影森)



野澤 ^{おうた}桜太くん
「クルンクルンな髪の毛が
チャームポイントです♪」
(大野原)



関口 ^{つむぎ}紡季ちゃん
「いつでも
元気いっぱい♪」
(中町)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

「対策は万全! 体育祭は大成功!」

(秩父高校)



今年新型コロナウイルス感染症対策で、多くの行事が中止となっています。そのような

中、秩父高校は10月22日、生徒会役員が中心となり、感染症対策を万全にした「体育祭」を計画し、無事実施することができました。

競技者以外は全員マスク着用、うがい・手洗いを徹底し種目も減らしての開催となりました。コロナ禍による閉塞感を何とか打ち破りたいという秩高生たちの思いが、「体育祭」を大成功に導きました。これは伝統校の生徒ならではの熱意と実行力のたまものと言えます。

秩父高校は、一緒に青春の熱い火を燃やす生徒を待っています!



市民文芸

俳句

関田 誓炎 選

盆地より眺む彼方の冬銀河	新米にしよ油一滴生卵	山百合の一輪咲きし道辺なり	初秋刀魚の香りをちらす夕餉なり	窓越しに傾きて来し秋の陽よ	柿の実の熟れるを待てず友逝きし	庭師入り親子寡黙に松手入れ	朝霧に突っ込んでいくローカル線	満月の爛々として身に痛し	コロナ禍と無縁の山の粧うなり
野坂町 柴崎真梨華	黒谷 中村 美代	三峰 千島サマ井	堀切 富田 家司	黒谷 榎本 久	目野田町 黒岩 信江	上野町 櫻井 照子	小柱 設楽 悦子	金室町 関根 俊夫	吉田久長 齋藤 大仙

〔評〕「山の粧う」とは、「黄葉や紅葉の山の美しさ」を示す季語。齋藤さんは秩父の山はコロナ禍とは無縁で、美しい自然を保っている、心から喜ぶ。関根さんは、澄んで美しいとされる中秋の満月を「爛々として身に痛し」と表現し、設楽さんは、ローカル線の車両が朝霧の中へ走り行く様子を、櫻井さんは、松の手入れの親子の真剣さを、黒岩さんは、成熟の柿を見ずに逝去した友に心を向け、榎本さんは、傾いてきた夕方の陽を浴び、富田さんは、脂の乗った初秋刀魚の夕餉を楽しみ、千島さんは山百合の咲く道を静かに歩く。中村さんは、新米に、卵をかけた食事を楽しみ、柴崎さんは盆地にいて、頭上の冬の銀河の鋭い光の下にいる。

※次回1月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 12月末締切→2月号に掲載
短歌 1月末締切→3月号に掲載